

1. 施設概要

東京都立墨東病院 高度救命救急センターは、東京都区東部 150 万人の重症救急を担う三次救急医療の中核施設です。年間 2,200 件を超える三次救急搬送を受け入れ、都内最多クラスの VA-ECMO 導入数（年間約 40 件）をはじめ、重篤な循環器疾患への高度な補助循環治療を日常的に提供しています。

当センターには**医師 30 名以上が在籍**しており、**集中治療科専門医 8 名、救急科専門医 17 名、循環器内科専門医 2 名**を中心に、**レジデントも各学年 3～4 名と充実**しています。さらに、**外科・脳神経外科・心臓血管外科・整形外科などのスペシャリティを持つ医師も常勤**しており、領域横断的な連携のもとで重症患者に対する全身管理が実践されています。

循環器に強みを持つ集中治療環境は当センターの大きな特長です。急性心筋梗塞、大動脈解離、不整脈ストーム、心筋炎、心停止後症候群などに対し、VA/VV-ECMO・Impella・iNO・腹臥位療法・神経集中治療・肝腎代替療法・凝固管理まで含めた**多臓器サポートを主科として包括的に提供**しています。**循環器医としてのスキルを活かしながら、全身集中治療に必要な技術と視点を自然に身につけることができます。**

さらに、全国で 2 番目に **Hybrid ER** を導入し、重症外傷や CPA 症例に即応可能な体制を構築しています。**ECPR 体制も日常的に稼働**しており、医師・看護師・臨床工学技士など多職種での連携トレーニングが定着している環境です。レジデントの段階から**実践的な導入スキルを習得**できます。

また、**循環器内科専門医がセンター内に常駐**し急性冠症候群に対しての PCI やメカニカルサポートの確立、心筋生検・心嚢ドレナージなどの手技を行っております。また、一般循環器内科と連携して TAVI やデバイス治療にも対応可能です。**循環器集中治療の専門性をさらに高めたい医師にとって、診療・教育・実践すべての面で飛躍できるフィールド**がここにあります。

2. 対象疾患

- 急性心筋梗塞（AMI）への迅速なカテーテル治療と補助循環管理
 - 重症心不全・心筋炎などの心原性ショックに対する補助循環デバイスの導入・人工呼吸器など多臓器不全に対する集中治療管理
 - 心停止後症候群への ECPR、体温管理療法（TTM）、脳波持続モニタリングを含む蘇生後の神経集中治療
 - 急性大動脈解離への心臓血管外科との共同対応
 - 不整脈ストーム・致死性不整脈への早期介入と集学的評価
-

3. 教育とキャリア形成支援

当センターでは、実践力・理論力・発信力を養う教育環境を整えています。

- 手技教育（エコー、カテーテル、VA-ECMO/IABP 操作、プライミング、トラブルシューティング）
- 症例検討会、ジャーナルクラブ

- 臨床研究支援と投稿指導（『INTENSIVIST』等）。また、当センターでは『ECPR そのコツとなぜ？』など、ECPR に関する実践的な書籍の執筆陣にも加わっており、実臨床と教育・発信を両立しています。

当センターは以下の専門医資格・研修に対応しています：

資格・研修内容	対応状況
日本救急医学会認定 救急科専門医	取得可能
日本集中治療医学会認定 集中治療科専門医	取得可能
日本心血管インターベンション治療学会（CVIT）研修施設	認定済
循環器内科後期研修	対応可能

4. 幅広い選択肢を提供する "もう一つの集中治療室"

墨東病院には、高度救命救急センター内の ICU とは別に、術後管理や院内急変対応を専門とした**専用の Semi-Closed ICU**（集中治療室）も併設されています。

この ICU では：

- 心臓血管外科、脳神経外科、消化器外科などの術後患者
- 院内急変後の集中管理（RRS 対応を含む）や、各診療科の重症患者の全身管理

を対象に、集中治療科専門医・麻酔科専門医の指導のもと、全身管理・術後合併症対応を習得可能です。**救命救急センターでの研修に加え、この ICU での研修も相談可能**であり、循環器救急に加え、術後集中管理に強い医師を目指せます。

5. 働きやすさと好立地

当センターは東京都の公立病院として、医師の働き方改革に対応した体制整備を進めています：

- 当直明けの完全帰宅
- オンコールの整備と柔軟な休暇取得
- シフト制による勤務負担の適正化

さらに、**JR 総武線・東京メトロ半蔵門線「錦糸町駅」徒歩 5 分**という好立地で、

- 都心からのアクセス良好（東京駅・新宿・渋谷 30 分圏内）
- 周辺には商業施設や飲食店が充実

と、都市型の利便性と生活のしやすさを両立した環境です。

6. 循環器集中治療を目指す医師へ

「心臓に強い救急医・集中治療医になりたいけど、何から始めればいいのか不安…」

「ECPR や ECMO の現場を実際に見てみたい」

「専門医もキャリアも、無理なく両立したい」

そんなあなたにこそ、墨東病院はぴったりの環境です。

当施設では：

1. VA-ECMO や ECPR、補助循環デバイスの運用からプライミング・トラブルシューティングまで、循環器集中治療の中核技術を実践的に学ぶことができます。
2. ECPR を中心とした蘇生学・救急循環管理に関する臨床研究・学会発表・論文執筆まで、専門医取得と並行してキャリア形成が可能です。
3. 救命救急と周術期集中治療、両方の ICU ローターションを通じて、オールラウンドな重症管理能力を身につけられます。

重症循環器領域に真摯に向き合い、次世代の集中治療医として飛躍したい方の参加を、心よりお待ちしております。

循環器集中治療、術後集中治療の両面において、豊富な症例と指導体制を有する墨東病院は、重症患者の最前線に立ちつつも、持続可能な働き方と成長を支える環境を整えています。専門医取得、研究、生活、すべてを両立させたい方に最適な環境がここにあります。

お問い合わせ・見学申込

施設 HP： <https://www.tmhp.jp/bokutoh/section/first-aid/crit-center.html>

見学・研修のお問い合わせは以下までご連絡ください：

- 杉山和宏（センター長）
mail: kazusugi0422@hotmail.com
- 加藤太治
mail: kato.ta1@gmail.com

○施設の実績

年間収容件数 2023 年 2322 名 （3 次救急医療施設として 1 位）

PCI 件数

年間 400-450 件程度（うち 70 件）

ECPR 件数 25－30 件/年

救急科医師総数 26 名

施設認定

- 日本救急医学会救急科専門医・指導医指定施設
- 日本集中治療医学会集中治療科専門医研修施設
- 日本外傷学会外傷専門医研修施設
- 日本熱傷学会熱傷専門医認定研修施設

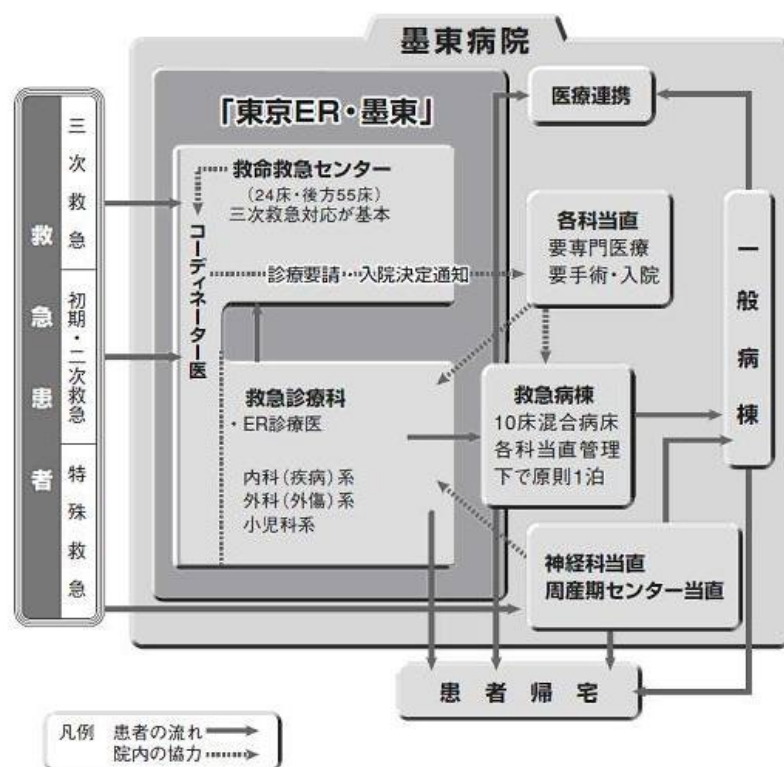
写真

HybridER を用いての初療。その他通常のカテ室が2部屋あり。

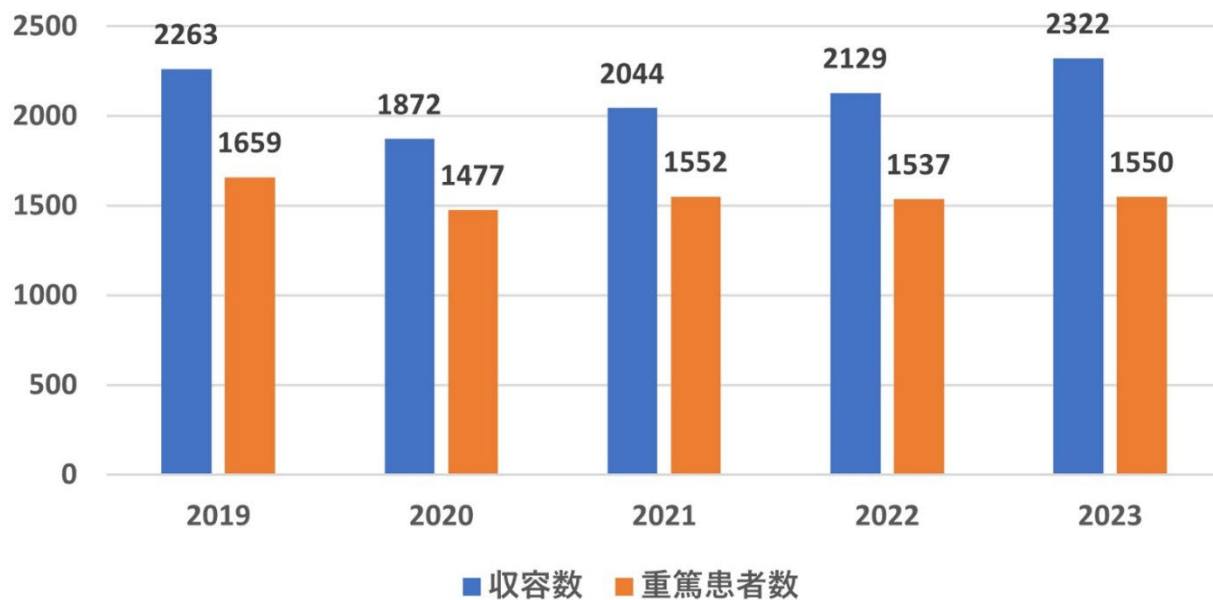


ある ECPR の風景となりますが、ECMO 確立後に Impella を挿入、そのまま PCI に移行しております。





年間収容数と重篤患者数（年別）



※重篤患者数は救命救急センター実績報告における重症患者受け入れ基準（18項目）に基づき算定